

A circular logo with a purple border containing the text "Rush UG JP" in white.

Rush
UG JP

Adobe Premiere Rushで 動画を編集してみよう!

Rush User Group Japan
加藤 優真

A large black circle with a white dotted border, containing the title and version information.

Rushの
基本操作まとめ

For Ver.1.5.54

目次

パート1
PAGE **2** | プロジェクトの作成

パート2
PAGE **5** | カット編集

パート3
PAGE **7** | エフェクト

パート4
PAGE **10** | カラー調整

パート5
PAGE **13** | 音楽と効果音

パート6
PAGE **15** | グラフィック

パート7
PAGE **17** | 書き出し

パート1

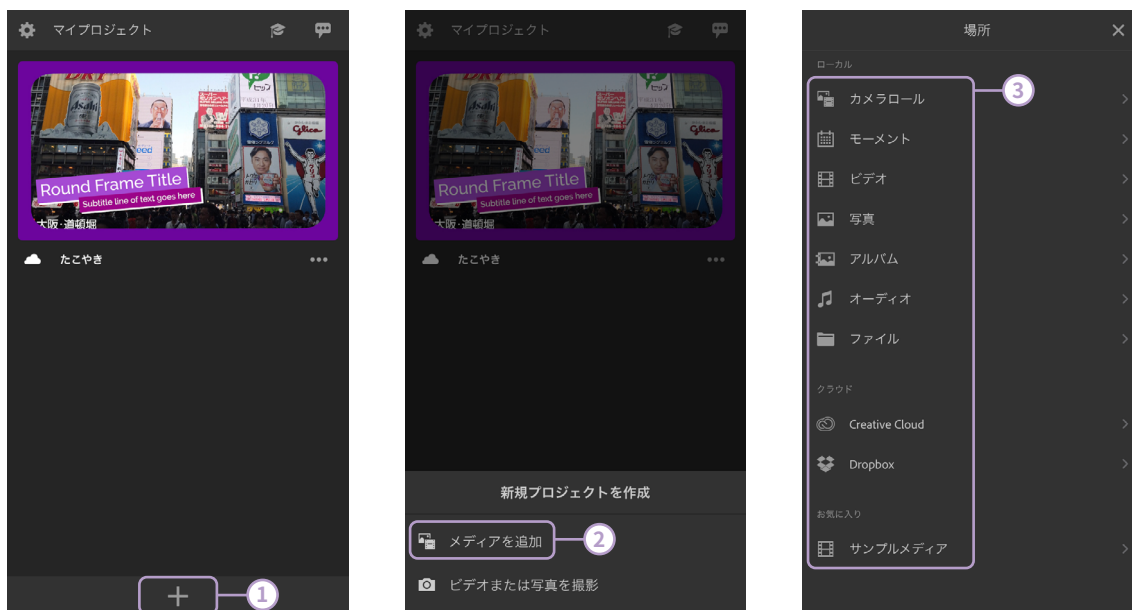
プロジェクトの作成

プロジェクトの作成は
動画の編集を始める第一歩です。

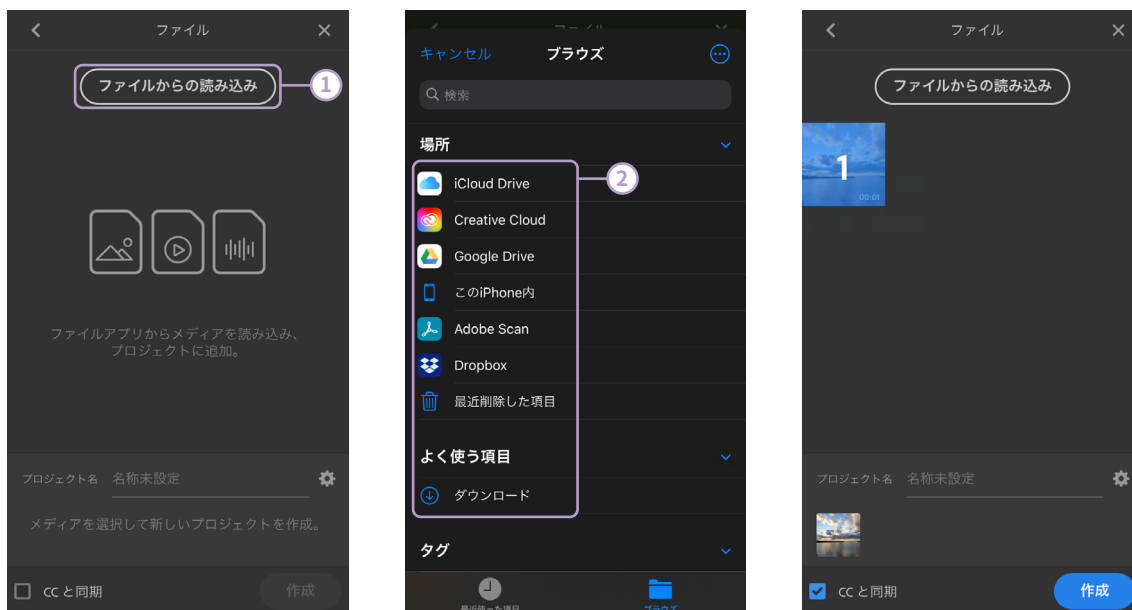
1.読み込む素材の指定

読み込む素材を指定します。**読み込みたい順番に素材を選択**していきましょう。この時に画像や動画、音声混ぜられていても大丈夫です。また、後から追加することも可能ですので、作業を始める上で必要な素材だけを読み込むと整理が簡単で作業が楽になります。

Rushを起動し、①+ボタンを押して、②「メディアを追加」を選択。その後、③任意の場所から素材を選択してください。PC版ですと「プロジェクトの新規作成」を選択し、任意の場所から素材を選択してください。



iOS端末でGoogle DriveやOne Drive、iCloudなどのクラウドストレージや端末の内蔵フォルダから素材を読み込む際は、Apple純正のファイルアプリから読み込みます。「ローカル」の「ファイル」を選択してください。その後、①「ファイルからの読み込み」を選択、②任意の場所で読み込む素材を指定します。指定すると画面が戻り、Rushで選択された状態になります。さらに読み込む場合は再び①「ファイルからの読み込み」を選択してください。



2.プロジェクト名と同期の設定

プロジェクト名の設定です。素材を選択する画面の下に①「プロジェクト名」と書かれた入力欄があります。他のプロジェクトと混同しないように、今回のプロジェクト名を入力しましょう。

また、左下には②「CCと同期」というチェックボックスがあります。こちらは、インポートする素材をクラウドにアップロードし、他の端末でも使えるようにするかどうかを設定することができます。他の端末でもこのプロジェクトを編集するのであればチェックを有効に、この端末だけで作業するのであれば、チェックを無効にしておきましょう。



3.アスペクト比とオートリフレームの設定

プロジェクト名を入力欄の右側にある①歯車マークを選択すると、アスペクト比とオートリフレームの設定が可能です。

上の方にある②四角と数字の部分がアスペクト比の設定になります。アスペクト比とは動画の比率のことを指し、初期状態はどの比で作成するかを指定することができます。16:9は横長のテレビやYouTubeと同じ比、9:16はInstagramのストーリーやTikTokなどで使用されている比、4:5はInstagramの投稿などで使用されている比、1:1はスクエアの比になります。なお、アスペクト比は編集中心に変更することも可能です。

オートリフレームの設定は、動画素材のアスペクト比がプロジェクトのアスペクト比と異なる場合、AIが被写体を認識して中央に自動で配置してくれるエフェクトの「オートリフレーム」を自動で有効にするかどうかという設定になります。様々なアスペクト比の動画素材を使用する場合は③チェックを入れておくことをおすすめします。

また、写真をズームや移動させるアニメーション、「パンとズーム」をあらかじめ写真に対して設定する場合は④「パンとズームの写真」を有効にしておくことで、全ての写真に対して適用することができます。

設定が完了したら⑤「OK」を選択、そして⑥「作成」を押してプロジェクトの作成を完了しましょう。



パート2

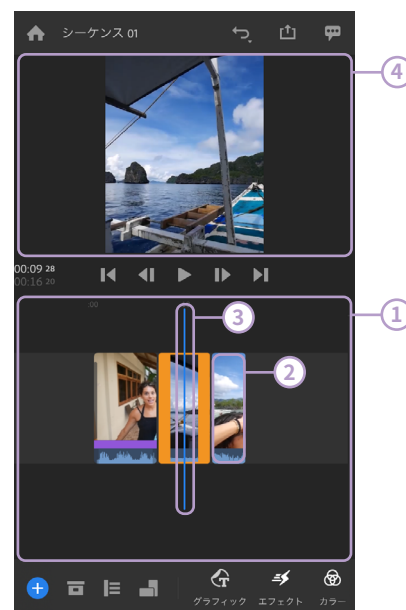
カット編集

編集でまず一番初めにやることは「カット編集」と呼ばれる、
不要な部分を削ぎ落としていく作業になります。

カット編集

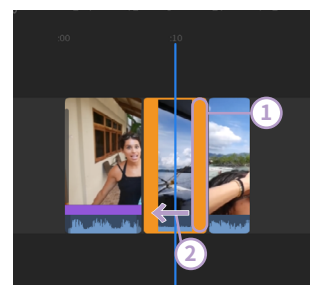
ここからは編集パートです。編集でまず一番初めにやることは「カット編集」と呼ばれる、動画や音声などの不要部分を削ぎ落としていく作業になります。Rushにはカット編集の方法が二通りあるので、双方マスターしてサクサクカット編集できるようになると、より動画編集にかかる時間が短くできます！

ここで出てくる用語は①タイムライン②クリップ③再生バーです。素材が並んでいるところをタイムライン、素材1つ1つをクリップと呼びます。タイムライン中央に縦に伸びている青い線は再生バーと呼ばれるもので、そのバーの位置を上④モニターで表示しています。



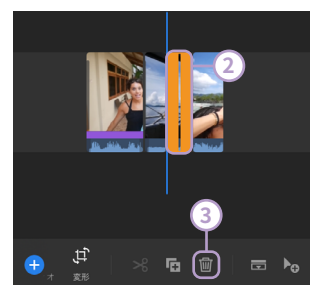
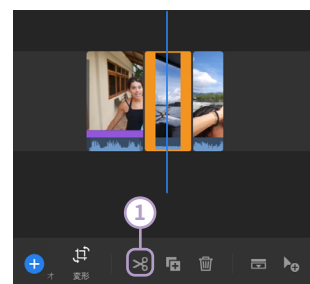
1.クリップを短くする方法

素材そのものの長さを短くする方法です。短くする方法はクリップを選択し、①両端の太くなっている箇所を選択しながら②左右に動かすという操作になります。短くし過ぎた場合は画面上の戻るボタンで戻るか、同じ場所のクリップの端を掴み、反対方向に伸ばすことで戻すことが可能です。



2.分割して削除する方法

クリップを分割して、いらない方を削除するという方法です。分割したい場所に再生バーを配置し、メニューにある(スマホ版は画面下のメニュー右端の方、タブレット・PC版は画面左下)①ハサミマークを選択すると分割されます。あとは②不要な部分を同じような位置にある③ゴミ箱マークで削除するだけです。こちらも元に戻すことが可能です。



パート3

エフェクト

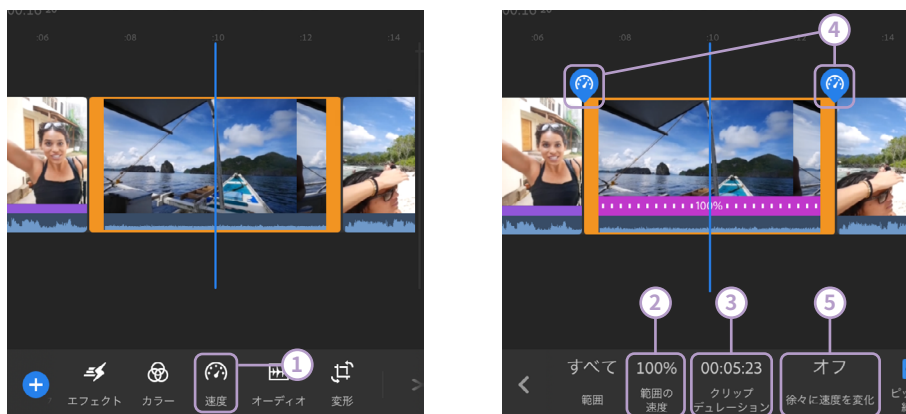
スマホでもPC版でも同じエフェクトを使うことができる
Rush。エフェクトを使いこなしてより簡単にワンランク上の
動画を作れるようになりましょう!

エフェクト

このパートではエフェクトについて解説していきます。

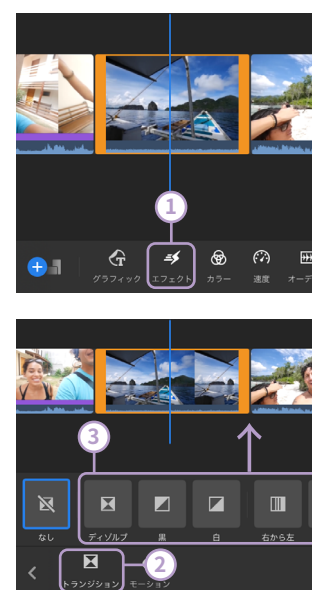
1.スピード

スピードの調整では、動画を早送りしたり、スローにしたりすることができます。①「速度」メニューで動画の②速度を%で指定できます。また、クリップの時間を指定して、その長さになるように速度を自動調整するという方法もあります。この場合は、③「クリップデュレーション」を選択し、時間を入力して指定します。さらに、クリップの一部だけに速度の変化を適用することもできます。この場合は、速度メニューを開いて、変更したいクリップを選択すると、クリップの上部分に④青いマーカーが出てくるので、マーカーを動かして範囲を指定します。この際に、速度変化を緩やかにしたいときは、⑤「徐々に速度を変化」をオンにし、変化にかける時間を指定します。



2.ビデオトラックに対するトランジション

動画や画像に対するトランジションは、2020年10月のアップデートでかなり数が増えました。今までは単純なディゾルブや暗転、ホワイトアウトだけでしたが、ワイプやスライド、プッシュが上下左右方向から可能になりました。適用する方法は、①「エフェクト」メニューの②「トランジション」で③エフェクトを掴んで、④適用したいクリップやクリップ同士の間に乗せるという方法になります。また、クリップの両端に同じエフェクトを適用したい場合は、適用したいクリップを選択し、③エフェクトをダブルタップ(ダブルクリック)すると適用可能です。

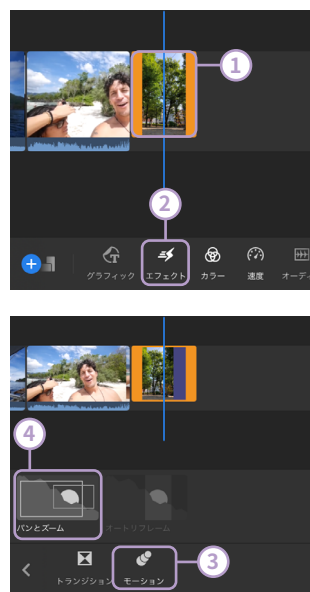


3. 音声トラックに対するトランジション

音声(声や効果音、音楽など)に対するトランジションはフェード効果になります。といっても一つ前の項目で登場したディゾルブを音声クリップに適用するだけです。適用方法も同じです。

4. パンとズーム

パンとズームは静止画に対して適用できるエフェクトです。①適用したい静止画を選択し、②エフェクトメニューの③「モーション」>④「パンとズーム」を選択します。現時点ではプリセットされた数種類のアニメーションがランダムで適用されます。別の動きが良い場合には一度外して再び適用すると別のパターンに変わることもあります。



5. オートリフレーム

オートリフレームは、動画素材のアスペクト比がプロジェクトのアスペクト比と異なる場合、AIが被写体を認識して中央に自動で配置してくれるエフェクトです。適用したい①動画クリップを選択し、②エフェクトメニューの③「モーション」>④「オートリフレーム」を選択します。適用すると自動で解析され、被写体と判別されたものを中心に配置し続けます。

万が一、被写体を間違えて認識している場合は、そのタイミングに再生バーを動かし、「オートリフレーム」の⑤「フレームの調整」を選択し、被写体を教えることで、簡単に修正が可能です。



パート4

カラー調整

Lightroomライクにカラーの調整ができるRush。カラープリセットも増えてさらに使いやすくなっています。マスターしてじぶん色の動画を作ってみましょう!

カラー調整

このパートでは「カラー」メニューで行うカラー調整について解説していきます。2021年3月に追加された数多くのプリセットと視覚的にわかりやすいスライダーにより効率よく自分の色を出していくことが可能になりました。

1.内蔵プリセット

カラーメニューには、お手軽にカラーを調整できる「内蔵プリセット」が35種類あります。映画風で使う方も多いティールアンドオレンジは「オレンジと青緑」、そのほかにも有名フィルム風のフィルターなどが搭載されています。

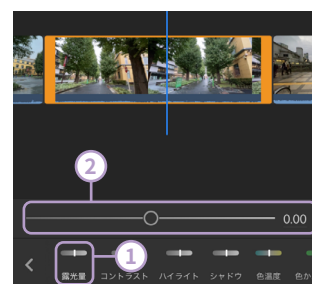
適用する方法は、①適用したいクリップを選択し、②「カラー」メニューを開き、③「内蔵プリセット」を選択、④適用したいプリセットを選択するだけです。適用度合いを調整するには⑤「適用度」を選択すると出てくる⑥スライダー動かすことで可能です。



2.各項目で細かいカラー調整

プリセットの他に、Lightroomでいうところの基本補正を行うことができます。調整できる項目は、露光量・コントラスト・ハイライト・シャドウ・色温度・色かぶり補正・自然な彩度・彩度・色あせたフィルム・シャープ・ビネット適用量・ビネットぼかしの計12項目です。

適用する方法は、①変更したい項目を選択、②スライダーを調整するという方法です。



3.すべてに適用

2021年3月アップデートで追加された新機能「すべてに適用」。この機能は選択された内蔵プリセットや各調整項目の数値を、同じタイムラインにある映像や画像全てに適用することができるものです。

適用する方法は、①各プリセットや調整項目を設定し、「カラー」メニュー右端にある②「すべてに適用」を選択するだけです。

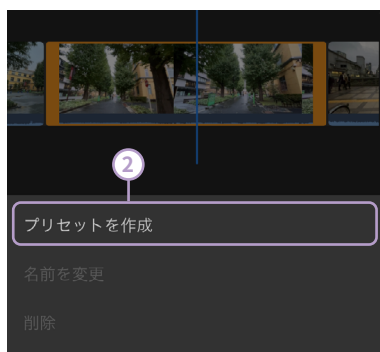


4.プリセットを作成する

さまざまな調整項目がありますが、同じ設定を他のクリップやプロジェクト等で使用したい場合、プリセットを作成すると非常に便利です。使用しているプリセットのみならず、各項目の数値が保存されるため、適用後に微調整をすることも可能です。

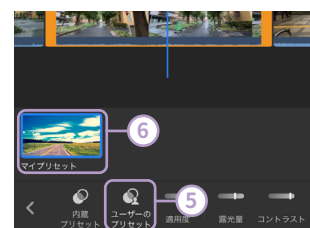
作成方法は、「カラー」メニュー右端にある①「・・・」より、②「プリセットを作成」を選択、③任意の名前を指定して、④「保存」とすると完了です。

なお、プリセットはクラウド同期されませんので、他の端末でプリセットとして使用する際には改めて作成が必要です。



5.自分で作成したプリセットを使う

自分で作成したプリセットの使用方法は「カラー」メニュー左側に出てくる⑤「ユーザーのプリセット」を選択し、⑥表示された適用したいものを選択するだけです。



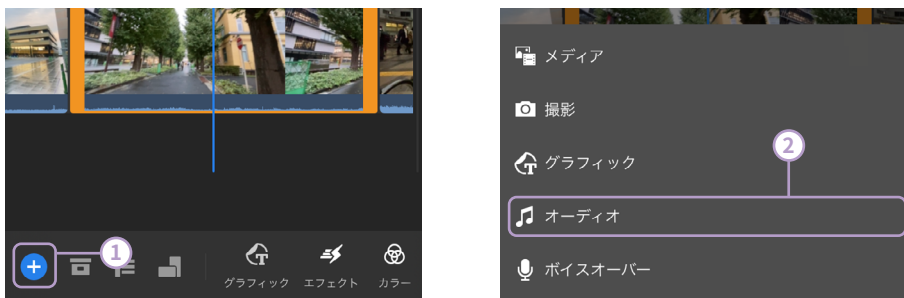
パート5

音楽と効果音

Rushには著作権フリーの音楽と効果音が数多く含まれています。これらを動画のアクセントに加えてみませんか？

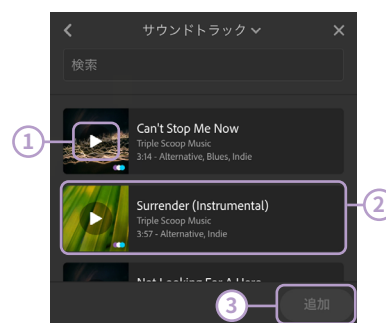
音楽と効果音

Rushに含まれる音楽や効果音は非常に数の多い充実したライブラリになっています。サウンドトラック・サウンドエフェクト・ループは編集画面にある①+ボタンから②「オーディオ」を開くと選択することができます。なお、端末がオフライン時にはこの機能は使用できません。



1. サウンドトラック

サウンドトラックにはBGMなどの楽曲が含まれています。上から順に、Blues、Cinematic、Classical、EDM、Electronic、Experimental、Global、Hip Hop、Jazz、Percussion、Pop、Reggae、Rock、Seasonal、Smooth、Techno/Houseというジャンルに分かれています。曲を試しに聴く際には楽曲左の①再生マークを押すと試聴が可能です。使用する際は、②曲を選択して、右下の③追加ボタンを選択するとタイムラインに配置されます。



2. サウンドエフェクト

サウンドエフェクトは効果音やSEと呼ばれるもので、数多く含まれています。試聴や使用方法はサウンドトラックと同じです。どれも質の高いものになっていますので、動画のアクセントとして使ってみてはいかがでしょうか。

3. ループ

ループは、その名の通りループ音源なので横に並べるだけで音が続いて、無限に繰り返すことが可能です。ループは107曲含まれています。視聴や使用方法はサウンドトラックと同じです。一定のテンポの音源なので、何かの説明の時や繰り返しなどの動画の際に便利に使えるかと思います。

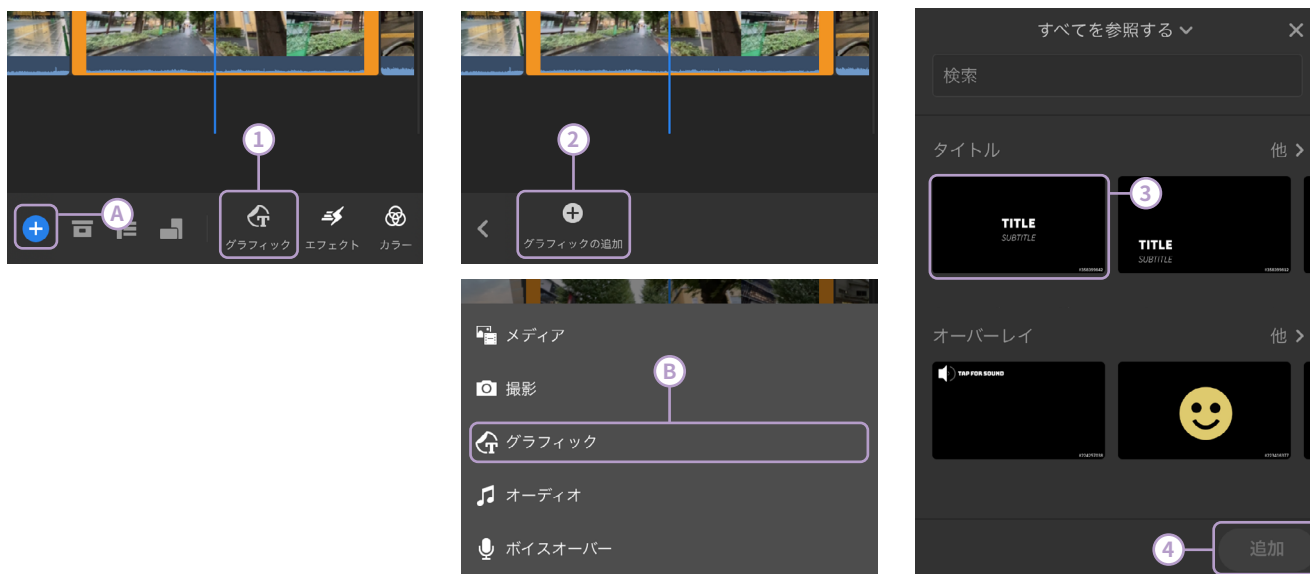
パート6

グラフィック

グラフィックはテロップやトランジション、オーバーレイがまとまった項目です。視覚的に強調したい部分で使えるものですので、効果的に使ってみてください。

グラフィック

グラフィックはテロップやタイトル、動画の上に重ねるトランジションやエフェクトが含まれています。1.5.34ではPC版のみ以前のタイトルというメニューになっていますが、今後グラフィックへ変更されると思います。グラフィックの追加は、①グラフィックメニューから②「グラフィックの追加」もしくは(A)+ボタンから(B)「グラフィック」を選択し、そこから③任意のものを選択して、④「追加」ボタンを選択してください。



1.タイトル

タイトル(テロップ)の編集についてです。まず、上記の方法で、タイムラインに追加してください。その後、編集しタイトルクリップを選択して、再生画面をダブルタップ(クリック)してください。そうすると編集が可能です。文字のフォントや色、サイズを変更する場合はグラフィックメニューを開いた状態で、変更したい文字全てを選択し、グラフィックメニューから変更します。日本語フォントについてはフォント名が英語表記になってしまっていますが、A-Zで並んでいる2週目のものが日本語フォントになります。

2.トランジショングラフィック

トランジショングラフィックは、エフェクトのトランジションとは異なり、画面上を図形で覆い、その間に次の映像に切り替えて図形が消えるとその映像が見えるようになるというトランジションになります。ですので、一般的には動画や静止画のクリップとクリップの間の上に配置する形になります。

3.オーバーレイ

オーバーレイはステッカーなどに近い機能です。図形や絵文字などに動きがついていて、動画や静止画の上に重ねて配置することで、より強調することができます。

パート7

書き出し

動画編集ソフトでの最後の作業は書き出しです。大事な作業なので、さくっと確認してみましょう。

書き出し

動画の調整ができれば書き出しです。Rushでは、動画の編集中、編集結果をプレビューしているだけで確定はされてません。従って、動画ファイルとして作業を確定して共有できる状態にすることを書き出しと呼びます。書き出しは、スマートフォン版は右上の共有ボタンから、タブレットやPC版は左上の共有タブから可能です。スマートフォン版やタブレット版は書き出した後に、PC版は書き出す前に、それぞれ対応しているSNS共有する設定ができます。

